

2018.1-3

資産運用状況
Quarterly Report

東京金属事業企業年金基金

用語の解説

- 修正総合利回り

資産の運用成果を評価する評価基準の一つで、簿価ベースの平均残高利回りである総合利回りの分母に前期末の評価損益および未収収益を加えることによってより時価に近い金額に修正した収益率。

計算式：修正総合利回り(%) = (実現収益 + 未収収益増減 + 評価損益増減) / (元本平均残高 + 前期末未収収益 + 前期末評価損益) × 100

- ベンチマーク

運用成果を評価する際に相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指標を用います。

国内債券・・・NOMURA-BPI(NOMURA Bond Performance Index)

野村証券金融工学研究センターが算出・公表する日本の公募債券流通市場全体の投資収益指数で、1983年(昭和58年)12月末を100として指数化したもの。

国内株式・・・TOPIX(東証株価指数：Tokyo Stock Price Index)配当込み

東京証券取引所が東証一部に上場する国内株の全銘柄の時価総額を基に算出する株価指数で、1968年(昭和43年)1月4日を100として算出したもの。

外国債券・・・FTSE世界国債インデックス（旧 Citi世界国債インデックス）

ロンドン証券取引所グループのFTSEラッセルが算出・公表する世界主要国の国債の投資収益指数で、1984年(昭和59年)12月末を100として算出したもの。

外国株式・・・MSCI-KOKUSAI

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社(MSCI Inc)が算出・公表する国際的な株価指数で、日本を除く先進国22カ国の上場企業の株価指数で構成。

平成29年度第4四半期運用状況

平成29年度第4四半期は、1月は、企業業績の改善期待を背景に国内株式市場では日経平均が2万4000円台を回復、外国株式市場ではNYダウが過去最高値を更新するなど、内外株式市場は上昇基調で推移しました。

しかしながら、2月には、良好な米雇用統計を受けて米長期金利が上昇したことを背景に米国株式が急落したことから、日本を含む主要国の株式市場は大幅に下落しました。その後3月には、米トランプ政権の中国に対する関税制裁措置決定による米中貿易戦争への懸念から、内外株式市場は再び急落し、月間では大幅安となりました。

また、第4四半期の為替市場は、株式市場の大幅下落に伴うリスク回避姿勢の強まりから、安全資産といわれる円が買われ、急速に円高が進行しました。

このように、第4四半期においては、第3四半期までの適温相場といわれる市場環境から様相が一変し、米長期金利の上昇に端を発した急速な株価調整や、米トランプ政権による通商政策への懸念などから内外株式は大幅に下落した一方、円高が進行するなど大変厳しい運用環境となりました。

その結果、第4四半期の運用実績は-2.05%となり、7月24日の運用開始からの年度通期では+0.08%となりました。

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期 (7/24~)	第3四半期	第4四半期	年度通期
収益率(%)	—	2.23	2.40	-2.05	0.08
収益額(千円)	—	2,985	7,958	-10,699	244
期中元本平均残高(千円)	—	133,902	329,122	511,040	323,328
期末運用資産額(千円)	—	243,141	441,758	595,691	595,691

(注) 収益率は修正総合利回り

1. 平成29年度 第4四半期運用環境

【各市場の動き（1月～3月）】

国内債券：1月の10年国債利回りは、日銀が買いオペを減額したことや、欧米国債の利回り上昇が波及し、一時0.095%まで上昇（債券価格は下落）しました。その後2月から3月は、米長期金利の上昇に端を発した世界株式の大幅下落や米国の中国制裁大統領令署名を受けた株価急落などによるリスク回避姿勢の高まりなどから利回りは低下（債券価格は上昇）しました。

国内株式：1月は米国株高を背景に上昇して始まり、日経平均は約26年ぶりに2万4000円台を回復しましたが、月末にかけては円高への懸念などから下落しました。2月は、米雇用統計で賃金上昇率が高水準となったことを受け、米長期金利が急上昇したため、米国株式が大幅下落し国内株式も急落しました。3月は、米大統領が表明した鉄鋼・アルミの追加関税方針で円高に振れたことから国内株式は急落し、その後も、米国の対中制裁措置決定による米中貿易戦争への懸念などから大幅安となりました。

外国債券：1月の米国10年国債利回りは上昇基調で推移しました。その後2月には、米国株式急落を受けてリスク回避から債券が買われ利回りが低下する局面もありましたが、月末にかけて利回りは高値圏で推移しました。3月は、株価急落などにより利回りは低下しました。

外国株式：1月の米国株式市場は、世界的な企業景況感の改善などを背景に年初から続伸し、26日にはNYダウが過去最高値を更新しました。その後2月には、米雇用統計の発表を受け米長期金利が急上昇したため、米国株式の割高感が意識され大幅下落するなど値動きの荒い展開が続き、中旬以降はやや反転しましたが、月末にはFRB議長証言を受けて下落しました。3月は、鉄鋼・アルミに対する追加関税や中国制裁大統領令署名など、トランプ政権の通商政策に対する懸念から大幅安となりました。

為替：ドル/円は、1月は、日銀が国債買いオペを減額したことを受け円高が進行し、月末にかけては、米財務長官のドル安容認発言から円高が加速しました。その後2月から3月にかけては世界的な株価急落を受けたリスク回避的な持ち高整理の円買いから更に円高が進行しました。一方、ユーロ/円は、1月はほぼ横這いで推移しましたが、2月から3月にかけては、円高・ユーロ安基調で推移しました。

◇参考指標

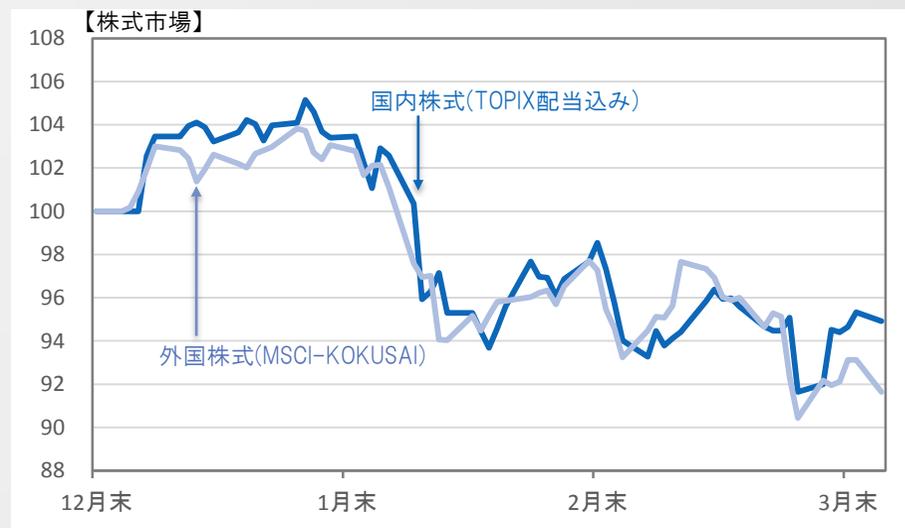
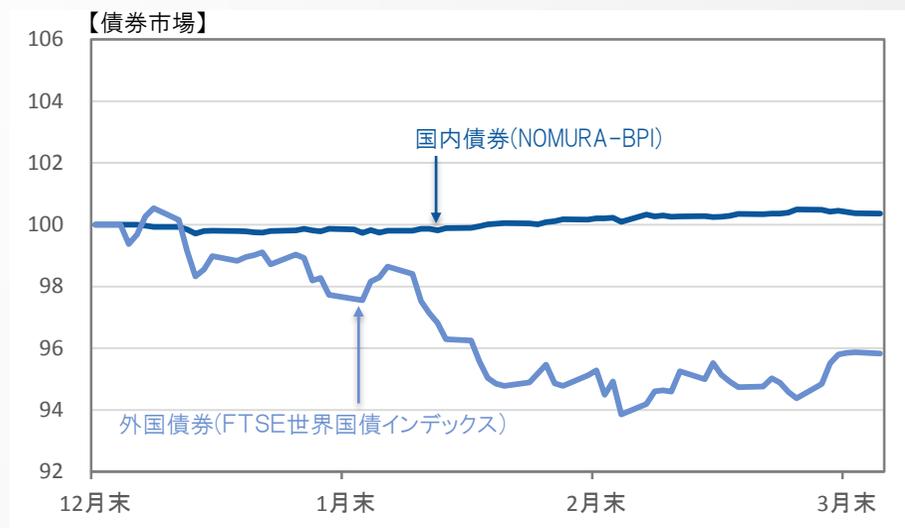
		H29年3月末	H29年12月末	H30年1月末	H30年2月末	H30年3月末
国内債券	10年国債利回り (%)	0.07	0.05	0.08	0.05	0.05
	TOPIX配当込み (ポイント)	2,176.87	2,645.77	2,673.82	2,574.87	2,522.26
国内株式	日経平均株価 (円)	18,909.26	22,764.94	23,098.29	22,068.24	21,454.30
	米国10年国債利回り (%)	2.39	2.41	2.71	2.86	2.74
外国債券	ドイツ10年国債利回り (%)	0.33	0.43	0.70	0.66	0.50
	NYダウ (ドル)	20,663.22	24,719.22	26,149.39	25,029.20	24,103.11
外国株式	ドイツDAX (ポイント)	12,312.87	12,917.64	13,189.48	12,435.85	12,096.73
	上海総合指数 (ポイント)	3,222.51	3,307.17	3,480.83	3,259.41	3,168.90
	ドル/円 (円)	111.43	112.65	109.16	106.70	106.35
為替	ユーロ/円 (円)	119.18	135.27	135.98	130.14	130.79

◇ベンチマーク収益率

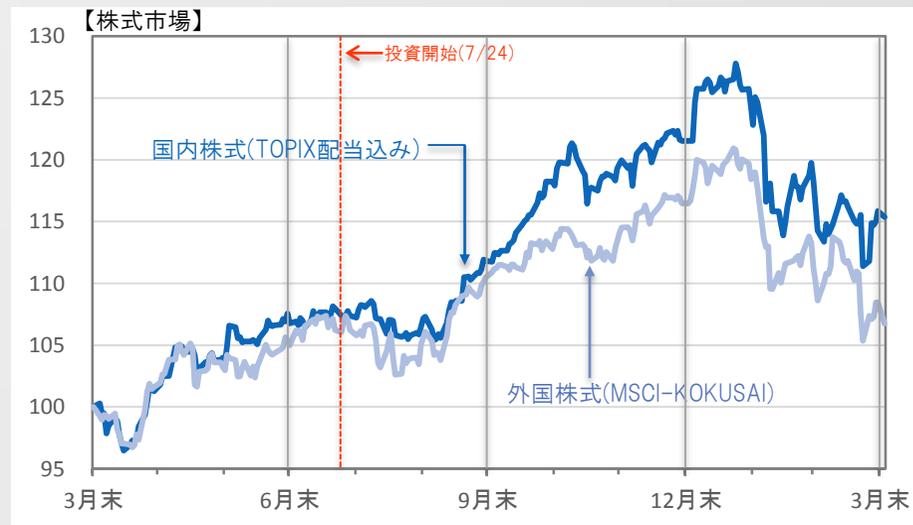
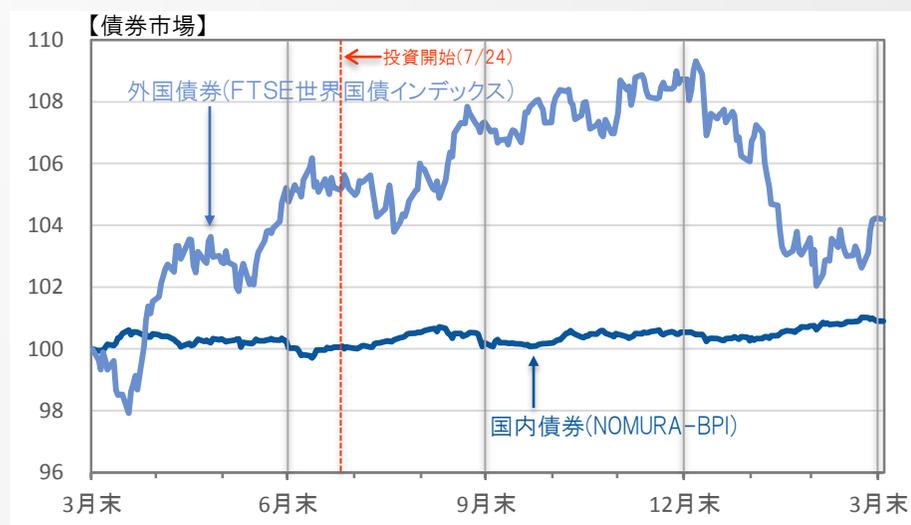
	平成30年1月～3月
国内債券 NOMURA-BPI	0.37%
国内株式 TOPIX配当込み	-4.67%
外国債券 FTSE世界国債インデックス	-4.14%
外国株式 MSCI-KOKUSAI	-6.88%

(注) ベンチマーク収益率は、期中のキャッシュフローを考慮しない収益率

市場インデックスの推移(平成29年度 第4四半期) 12月末=100とした市場の動き



市場インデックスの推移(平成29年度 通期) 3月末=100とした市場の動き



2. 資産クラス別収益率・収益額の状況

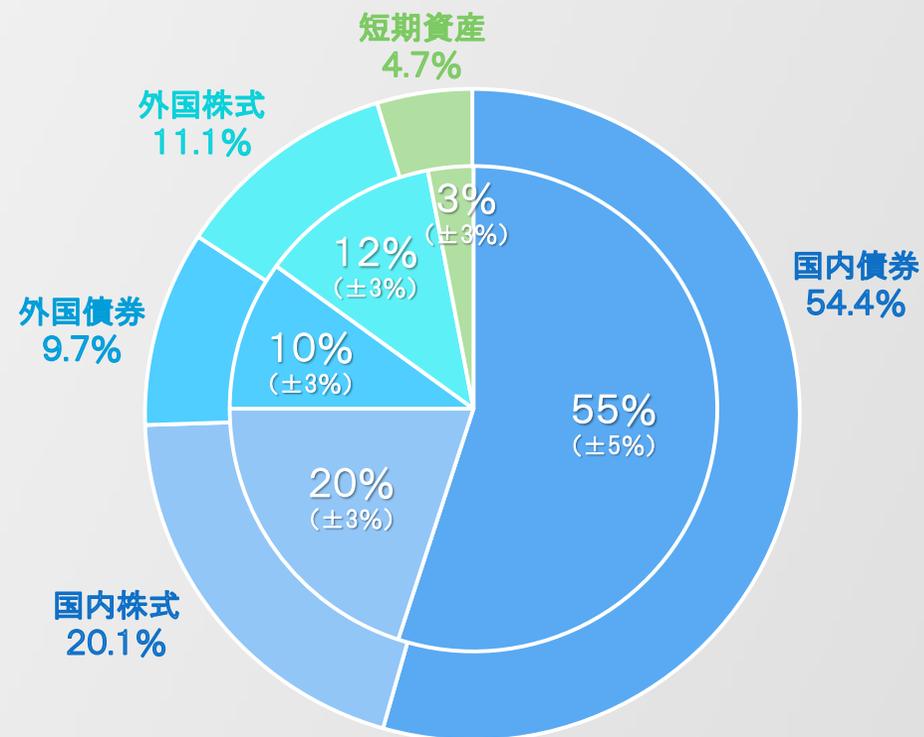
	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度通期
収益率 (%)	—	2.23	2.40	-2.05	0.08
国内債券	—	-0.08	0.28	0.30	0.75
国内株式	—	7.32	7.92	-4.81	2.73
外国債券	—	3.72	1.47	-3.74	-3.46
外国株式	—	7.83	5.18	-7.42	-4.35
短期資産	—	0.00	-0.01	-0.01	-0.02

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度通期
収益額 (千円)	—	2,985	7,958	-10,699	244
国内債券	—	-45	489	827	1,270
国内株式	—	1,597	5,009	-4,971	1,635
外国債券	—	405	470	-1,952	-1,077
外国株式	—	1,030	1,992	-4,601	-1,580
短期資産	—	-1	-2	-2	-5

3. 運用資産額・構成割合

	資産額 (千円)	構成割合	基本ポートフォリオ	乖離
国内債券	324,104	54.4%	55%(±5%)	-0.6%
国内債券	261,848	44.0%	44%	—
ヘッジ外債	62,256	10.5%	11%	—
国内株式	119,688	20.1%	20%(±3%)	+0.1%
外国債券	57,750	9.7%	10%(±3%)	-0.3%
外国株式	65,879	11.1%	12%(±3%)	-0.9%
短期資産	28,270	4.7%	3%(±3%)	+1.7%
合計	595,691	100.0%	100.0%	—

(注)上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。



内側：基本ポートフォリオ(カッコ内は乖離許容幅)
外側：平成30年4月2日時点